

いつかの、もしもの災害に備えよう！

災害図上訓練『DIG』をやってみよう！

室蘭警察署では、

「小学校や町内会でDIG訓練をしてみたい!でもどうやってするの?」、

「どんなテーマを話せばいいの?」

などお困りの場合に、警察官が出向き、DIG訓練のお手伝いをしていますので、お問い合わせください。



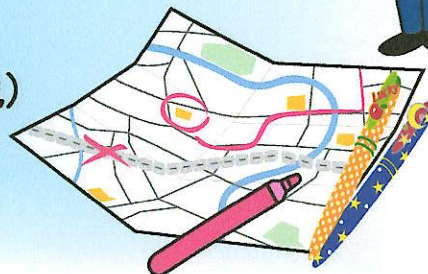
DIGとは

DISASTER(災害)、IMAGINATION(想像)、GAME(ゲーム)の頭文字を取って名付けられたもので、身近な文房具や地図を使用して、参加者が地図に書き込んだり、話し合ったりすることで、自分の地域や住まい・職場に潜む危険性を「見える化」し、みんなで防災を考える訓練です。



【 DIGに必要なもの 】

- ・ 地図
- ・ ペン(太字、細字 赤、黒、その他数色)
- ・ 付せん、ラベルシート
- ・ セロハンテープ ... など



【 DIGの流れ 】

- 1 災害のテーマを決める
- 2 グループ分け
8~12人前後の班に分ける
- 3 塗り絵(まちのつくりを知る)
鉄道、幹線主要道路、川、池、沼、空き地などを色分けする
- 4 「財産目録」づくり(さまざま防災資源を知る)
官公署、医療機関、避難所、食料・燃料・水が入手できる場所、危険物貯蔵施設など危険な場所などを探す
- 5 健康診断(危険箇所などを探す)
消防車が入れない地域、浸水に見舞われやすい地域など、災害・被害の観点からの要注意点や避難経路などを書き込む
- 6 発表
災害が発生した時に、「こんなときはどうする」と自分の考えを出し合い、いろいろな意見を発表しあう



【お問い合わせ】

北海道札幌方面 **室蘭警察署** 0143-46-0110(代表)

担当部署:警備課